



令和5年度

多北高 FRH 通信 第05号

令和5年8月22日(火)
多北高 FRH 推進委員会
探究推進部

FRH事業 乗鞍フィールドワーク

7月26日(水)に、乗鞍フィールドワークを実施しました。今年度は岐阜県側の乗鞍スカイラインが通行止めのため、中央道と乗鞍エコーライン経由で、長野県側から乗鞍畳平へアプローチしました。

今回は参加希望者が大変多く、大型バス3台に総勢137名が乗り合わせての行事となりました。乗鞍畳平までは、麓からのバイオーム(気候・植生)変化を観察しました。現地到着後は、植物観察班、調理実習班、地形読図班の3班にわかれ、それぞれ活動をしました。

<植物観察班生徒の感想>

★去年の生物の授業で学んだバイオームの内容をもう一度思い出すことができ、また実際に行って目で確認することができてとても貴重な体験になりました。バスで上に上がっていくに連れて段々と植生が変わっていき、興味深く思いました。ここより気温も低く、空気も澄んでいてすごく気持ちよかったです。この環境に適応して生きていく生物たちの生命力はすごいなあと感じました。地球温暖化が進むにつれ、70年後には高山植物も絶滅してしまうと聞いて、たくさんの植物や動物を絶滅させないためにも改めて地球温暖化防止の活動に貢献していきたいと思いました。

<調理実習班生徒の感想>

★バスでちょっと酔ったけど、長時間のバスは友達といっぱい話せて楽しかったです。授業で習った山の植生を見ながら、植物の写真を撮って残せたので良かったです。高山の気候はとても涼しくて、暑い夏の中で久しぶりに寒さを感じられてすっきりしました。ご飯を自分で一から作って、時間がかかったけど美味しかったので調理実習を選んでよかったなと思いました。

<地形読図班生徒の感想>

★山登りは未経験で、普段運動をする訳でもないけれど、毎年多治見北高校で開催されている乗鞍研修に中学の時から興味がありました。去年は参加せず、今年は思い切って参加してみましたが、想像よりも遥かに道のりが過酷でした。一応ルートはロープで囲ってあっても階段というより岩だし、グラグラするし落ちたら絶対死ぬし(特に下山中)で心が折れそうになったけど、その過酷な道のりを越えた分山頂に着いた時の達成感が物凄くて、感銘を受けました。もうしばらくはいいけど、山登りって良いものですね。雲の中を歩き、たどり着いた山頂からの景色は本当に綺麗で、心が洗われました。

<活動のようす>



